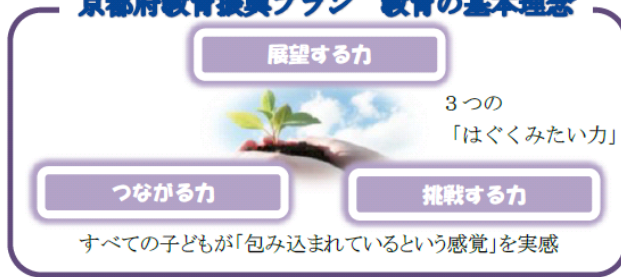


共生社会の実現を目指して

京都府教育振興プラン 教育の基本理念



京都府中丹教育局 中期目標

予測困難な未来を「ともに幸せに生きる力」を身に付けた子どもの育成と、人権尊重を基盤に据えた共生社会の実現を目指す。

中丹はぐくみたい力育成プラン

幼児期から成人期を見通した 資質・能力の育成



取組の重点

質の高い学力の育成

- ◆「社会に開かれた教育課程の実現」に向けた特色ある教育課程の編成
- ◆「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は18歳の姿につながっていることへの理解
- ◆認知能力・非認知能力を一体的にはぐくむ教育の展開

豊かな人間性・ 健やかな身体の育成

- ◆魅力ある学校づくり及びいじめ・暴力行為の未然防止や早期対応に向けた組織的取組の推進
- ◆社会的自立に向けた不登校児童生徒への切れ目のない組織的な支援の推進
- ◆幼児期及び小学校の低学年時における運動遊びの充実

教職員の 資質能力の向上

- ◆キャリアステージに応じて求められる資質能力を高める研修機会の充実
- ◆視野や教養を広げ、教育に還元しようとする人間的魅力あふれる意欲や態度の育成
- ◆ベテランの「知恵の継承」とOJTを中心とした人材育成の推進

地域学校協働推進

- ◆地域と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力をはぐくむことへの理解
- ◆コミュニティ・スクール(学校運営協議会)と地域学校協働(地域学校協働本部)の一体的な推進
- ◆学校・地域の双方が「当事者」意識を持ち、目標を共有した活動の推進